



今月の“スマイル”コーナー

さいたま市 H様邸改修工事

外断熱工事を施工しました

当物件は主に温熱性能を高める工事を行いました。

打ち放しの仕上げでモダンな外観でしたが、竣工から16年経ち、近年の猛暑で夏は中が暑くなってしまうという声をお客様から頂き、外壁断熱工事（ウッドブリースRC造外断熱工法 クラスPB）を行うことにしました。既存の外壁に断熱材を張り日射熱を防ぐことで、夏は暖まりにくく、冬はコンクリートが暖房の熱を貯めることで冷めにくい家となります。加えて屋根にも断熱材を貼り込み、一部のサッシを二重窓とすることで、屋根と開口部からの熱の浸入・流出も抑えました。

断熱材の上から左官仕上げを行い、モダンな外観を損なわず、暮らしやすい家になりました。本格的な冬になる前に工事も終わり、お客様からも「去年より暖かくなった」と大変満足して頂きました。



after

工事内容

外壁断熱工事、屋根断熱工事、サッシ工事、防水工事、外壁補修工事



before

自宅以外にビルやマンションにも！外断熱で快適な省エネ空間へ

エアコンにあまり頼らなくても、外断熱なら小さなエネルギーで室内空間を冬は保温の力でより暖かく、夏は断熱の力でより涼しく保つ事ができます。建物の耐久性も向上し、快適と健康、地球環境に優しい建物へと変身します。

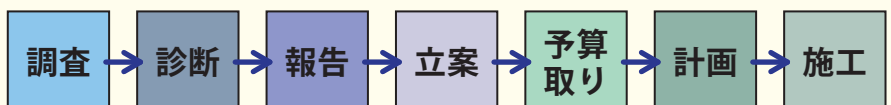
今回採用したウッドブリース工法については裏面をごらんください。

改修工事をご検討の方はお気軽にお声かけください！



弊社では、多くの経験と実績を活かして、お客様にとって最良のご提案をさせていただきます。

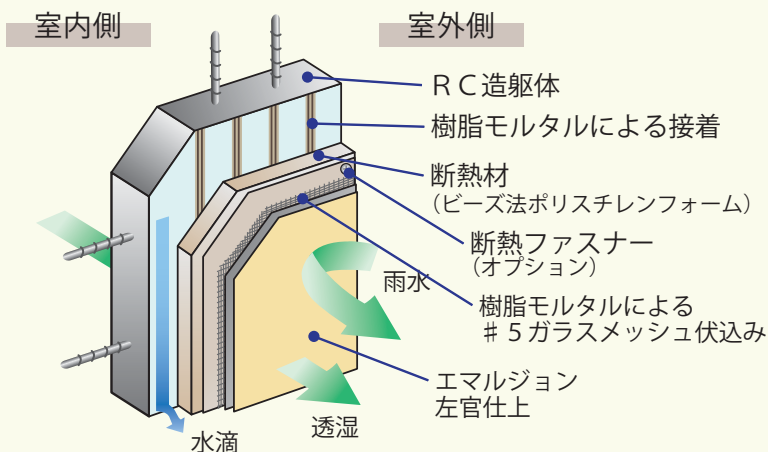
一般的な改修工事の流れ



ウッドブリース R C造外断熱工法 クラスPB

**ドイツ生まれの世界標準工法
豊かなデザイン性と
工法としての安全性と価格が魅力です**

PBとは、Polymer Based の略。モルタル、仕上げ材を薄くして、接着性、耐剥離性、耐クラック性、防水性を向上させているのは最新のポリマー（高分子）技術です。断熱材の標準は、EPS(Expanded PolyStyrene foam ビーズ法ポリスチレンフォーム)。



改装・リフォーム性の高い外断熱工法

外壁は約 8 Kg/ m²と軽量なので、既存の外装材上に施工をしても躯体や既存の外装材に負担をかけることは少なく、また落下の心配も低いのが特徴です。

既存のタイル、ALCにも施工が可能で外壁補修と断熱補強（結露対策）を目的とした改装・リフォームにも選ばれています。



参照：高本コーポレーション
ホームページ www.takamoto-kenzai.com/

ウチケン
ぶらり旅



古河散策

11月に古河に行ってきました。行く前は川越のようなイメージをしていたのですが、実際に歩いてみると、「小江戸」というより「小京都」の方がじっくりくる街並でした。特に古河文学館から古河歴史博物館に至る道は、紅葉とも相まって、どことなく京都の「嵐山」や「哲学の道」を思い起こさせます。

土曜日に行ったのですが、大宮から電車で30～40分とアクセスも悪くないのに、観光で来ている人も少なく、静かで散歩にいいなと感じました。散歩向きだなと感じたポイントがもう一つ、大通りから裏に入った道が石畳などになっているところが多く、歩くことで雰囲気存分に味わうことができます。

名所・旧跡が広い範囲で点在しており、1日で見て回るには限りがあるので、またゆっくりと違うポイントを回りたいと思わせてくれる町でした。次に行くときは名物の甘露煮を味わいたいと思います。

リポーター 山中

